

# 平成27年度第7回遠野市総合計画審議会 — 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成27年10月5日(月)午後1時30分～午後4時10分
- 2 場所 あえりあ遠野 交流ホール
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
委員	奥寺 榮一	遠野市消防団副団長(代理出席)
委員	千葉 和	NPO法人遠野エコネット代表
委員	千葉 純子	一般社団法人遠野市医師会会長
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会副委員長
委員	菊池 一勇	花巻農業協同組合理事
委員	菊池 修市	遠野地方森林組合(代理出席)
委員	菊池 完	一般社団法人遠野市観光協会副会長(代理出席)
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	小松 正真	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	菊池香南子	遠野市校長会副会長
委員	工藤 和信	遠野市PTA連合会会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	菅沼 隆子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団副理事長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	千代川朝子	遠野市地域婦人団体協議会(代理出席)
委員	菊池 修一	岩手県南広域振興局経営企画部企画推進課長(代理出席)
委員	佐々木栄洋	
委員	鳥屋部恵児	
委員	菊池 広樹	
委員	高宏 美鈴	
委員	菊池 陵太	

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
菊池 文正	経営企画部長
飛内 雅之	経営企画部まちづくり再生担当部長
菊池 永菜	経営企画部ICT・医師確保担当部長
荻野 優	総務部長
古川 憲	健康福祉部長
佐藤 浩一	産業振興部長
大里 政純	農林畜産部長
仁田 清巳	環境整備部長
小向 孝子	遠野文化研究センター一部長
小時田光行	消防本部消防長
鈴木 惣喜	市民センター所長兼宮守総合支所長
菊池 幸司	給食センター総合食育推進課長
鈴木 英呂	企画総括課長

澤村 一行	財政担当課長
千田 孝喜	まちづくり再生担当課長
伊藤 貴行	ICT・医師各所担当主管
菊池 享	総務部総務課長
沖舘 讓	健康福祉部福祉課長
千葉 典子	健康福祉部長寿課長
小向 浩人	農林畜産部農業振興課長
菊池 太一	環境整備部ハブ遠野整備推進室長
宮田 実	市民センター地域生活課長
立花 信一	市民センター生涯学習スポーツ課長
佐々木一富	子育て総合支援センター子育て総合支援課長
菊池 清春	宮守総合支所地域振興課長
米内 臣一	教育委員会教務課長
片方 元昭	教育委員会学校教育課

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 出席者報告
- 5 日程説明等
  - (1) 今後の進め方について
  - (2) 次回の審議会日程について
- 6 審議
  - (1) 第2次遠野市総合計画前期基本計画(案)について(分科会で審議)
- 7 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿、今後の審議会の進め方について

## (議事概要)

### 1 開会

#### ○菊池文正 経営企画部長

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただ今から、平成27年度第7回遠野市総合計画審議会を開会いたします。

はじめに、遠野市長からご挨拶を申し上げます。

### 2 市長あいさつ

#### ○本田敏秋 遠野市長

皆さん、たいへんご苦労さます。今日は、何かとお忙しい中、市総合計画の策定に参加いただいていることに、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。

今日は、9月29日に臼井会長に諮問した第2次遠野市総合計画前期基本計画について、5つの大綱に分かれての審議となりますので、よろしくお願ひします。

今朝の7月30分からの庁議において、市総合計画の策定が佳境に入ってくる中、分科会には部長も参加するが、市長として委員の皆さんと向き合っほしいと指示しました。5年間の中で、遠野市が、どのような中で様々な活力を見出ししていくのか、夢と希望を見出せるような分科会にしてほしいと、幹部職員には指示を出しています。委員の皆さんと一緒に、行政のプロとして様々な情報を持っているのは部長なので、他の市町村や、市町村を取り巻く厳しい状況を踏まえた中で議論を。財源がないとの議論ばかりしては、基本計画そのものも、中身がないものになりかねないと。5年の間に、どうするのかというものを位置付ける。そして、様々な要因の中で、5年間でできないならば、後期5カ年という次のステージもあるので、それが、今、問われているので、気を引きしめて頑張っほしいと指示しましたので、分科会では、座長を中心として、委員の皆さんと活発な議論をしていただきたいと思います。

9月末から今日まで、市内各地で様々なイベントが行われました。

市制施行10周年記念式典を10月1日に、みやもりホールで開催いたしました。4部構成として、1部は、保育協会へ遠野の幼児教育の一元化をはかり、これにより一自治体における2制度が解消されます。来年の4月には一元化する協定を締結させていただきました。

2部は、国体カウントダウンセレモニーを行いました。ポップ和紙に黒々と墨で書かれた366日という数字がおどっていました。緑峰高校の生徒がデザインしたものです。国体ダンスを踊りながら、あと1年で国体であることを皆さんで確認しあうことができました。

3部は、合併10周年ということで、20の団体に感謝状をお贈りしました。この感謝状は単に、この10年で、合併、再編、統合しただけではなく、これからの10年に向かって官民一体となって市民協働の地域づくり、まちづくり、遠野の活性化を目指していこうと、このようなことを確認しあうという中における感謝状でありました。2万2千人が、構成員として名を連ねているのであれば、この高齢化社会において、なかなかリーダー、指導者がという部分がありますので、会員を増やしていかなければならないということも確認しあったわけでありました。

4部は、祝賀会でありました。会費2千円をいただきながら、宮守町地域婦人団体協議会の皆さんが、前の晩から用意していただいた手作りの郷土料理を味わいながら、10年の思い出を振り返り、次の10年を語り合う祝賀会を開催いたしました。

4部構成として、長い式典ではありましたが、それぞれの意味あいがあり、合併10周年を一つのけじめとして迎えることができました。ここにおられる関係者の皆さんにも、感謝申し上げます。特に、保育協会の一元化につきましては、総合計画審議会に諮問するという、今までにない手法をとらせていただきました。このまま10年、放置しておくわけにはいかない、しかし、それぞれの関係者の思いもあります。子どもたちを、大人の都合で巻き込むわけにはいきません。慎重にしなければならないという中で、10年かかってきたのですが、審議会の皆さんには、1月、2月と大変、中身の有る議論をしていただき、客観的立場にたって、一元化すべきとの答申をいただいたことから、一気に来年4月の移行に向けた協定の締結を行うことができました。あらためて、臼井会長をはじめ、答申をいただいた審議会の皆さんに、心から感謝申し上げます。

また、政府では、農林水産物や景観などを生かした地域活性化の成功事例として全国の27

団体を選定したところですが、その一つとして、企業研修や外国人にグリーンツーリズムをすすめる「遠野・住田ふるさと体験協議会」が選ばれました。交流人口の拡大におきましては、今回、選ばれたことが一つの自信となり、更なる加速にもつながると思います。

地方分権の中におきましても、内閣府から、遠野遺産認定条例が、分権における一つの成功事例として、遠野独自の取り組みが評価され、地方分権のモデル事例として紹介されております。

それから、一般国道 340 号（仮称）大峠トンネル築造工事安全祈願祭が行われ、距離で 4 キロ短縮することとなります。

また、ごみ焼却における岩手中部クリーンセンターのオープニングセレモニーが行われ、遠野市、花巻市、北上市、西和賀町の 3 市 1 町の 100 億円を超えるプロジェクトですが、10 月 1 日から北上市の和賀町焼却プラントが稼働をはじめています。遠野のごみ焼却も、今月中には役目を終えることとなりますが、中継施設として、遠野の生ゴミも北上市に運ぶプロジェクトが、いよいよ動き出します。したがって、搬送コストを考えますと、ゴミの減少や徹底した仕分けにおいて、市民の皆さんの協力をいただきながら対応することにより、経費の縮減も図っていかねばなりませんので、さらなるご理解とご支援をいただければと思います。

さらには、ばすぼる食育まつりが、10 月 3 日に開催されました。食育の拠点として開業して、2 年になります。その中で、ジャンパーを着た中学生が参加しておりました。背中には、遠野を盛り上げるプロジェクトのステッカーが、見事に浮き上がっておりました。子どもたちが、食育まつりに、ボランティアで参加しておりましたが、遠野を盛り上げるという気持ちを、大人もさらに大事にしなければならぬと感じたところです。

それから、フレッシュ ホップ フェスト 2015 が、同じく 10 月 3 日に蔵の道広場で開催されました。今年収穫した遠野産ホップを使用したビール「遠野の華」が発売されます。上閉伊酒造が開発し、さわやかな口当たりが特徴という中で、フィリピン政府から農業研修として遠野に派遣されてきている約 20 名も参加し、盛り上がっておりました。地元の企業が、様々なことにチャレンジしている。そして、更なる、ホップを通して全国に発信をしている大きなプロジェクトが見えてきて、一つの遠野の活力。ズモナビールも賞を受賞したことも、紹介されておりました。

また、昨日ですが、第 10 回遠野市継走大会が開催され、小友を起点として、59.3 km でタスキがつながれました。事故もなく、見事なドラマが演じられました。優勝は遠野町で、5 連覇となりましたが、上郷町までは宮守町がトップでした。最終的には遠野町が優勝しましたが、それぞれが各町の誇りと名誉をかけて、タスキをつないだのも、地域づくりではないのかなと思っております。

今週には、産業まつりが、蔵の道広場で開催されます。そこには、福崎町や大府の首長も出席することになっておりますことを皆さんにお知らせします。

初冠雪という中で、雪だよりも聞こえてきておりますが、10 月中に、皆さんのお知恵と発想力、企画力を、前期基本計画に反映できるような議論を展開していただきますように、心からお願い申し上げます。報告を兼ねてのあいさつにさせていただきます。よろしく申し上げます。

### 3 会長あいさつ

#### ○菊池文正 経営企画部長

続きまして、臼井会長よりご挨拶をお願いいたします。

#### ○臼井悦男 会長

市制施行 10 周年、大変、お疲れさまでした。これまでの 10 年を振り返り、今後の 10 年のありようを考えるととても良い機会でありました。市長からお話がありましたが、幼稚園・保育園の一元化においては、市総合計画の会長として祝辞を述べてまいりました。

いよいよ、これから計画の審議に入ります。審議は、5 つの分科会で、5 人ずつ分かれて検討することといたしました。必ずしも、自分が係っている分野と一致しないこともあるかもしれませんが、だからこそ、3 万市民を代表して色々なことについて積極的に発言をしていただ

きたいと思います。かゆい所まで議論していただくための少人数の分科会ですし、職員も同様に係ってくれるとのお話をいただきましたので、自信を持って、誇りを持って発言していただき、役割を果たしてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

#### 4 出席者報告

##### ○菊池文正 経営企画部長

次に出席者、および配布資料についてご説明申し上げます。

本日、委員の皆さま方の出席状況は、25名中、代理出席を含めまして24名の委員の皆さまに出席いただいております。なお、21番の佐々木栄洋委員は、若干後れて参加いたしますので、本日は、全員参加となります。

名簿の訂正があります、委員名簿25番に菊池浩彦さんとありますが、4月から菊池陵太さんが会長となっておりますので、お詫びして訂正いたします。

市側の出席者は、会議資料の2ページに掲載しておりますので、よろしくをお願いします。

次に、本日の配付資料について、確認をお願いします。

お手元には、次第の資料が配布になっております。そして、本日は、前回配布しております審議資料No.1第2次遠野市総合計画前期基本計画（案）、審議資料No.2の第2次遠野市総合計画前期基本計画掲載主要事業（案）を使って分科会で協議していただきます。お忘れのお方が、おられましたら事務局まで連絡をお願いします。

それでは、本日の会議日程、進め方について、企画総括課長からご説明申し上げます。

#### 5 日程説明等

##### ○鈴木英呂 経営総括課長

それでは、今後の進め方について説明いたします。

この後、過日の審議会において確認されましたとおり、5つの大綱ごとに分かれての審議会となります。分科会のメンバー、会場は、資料の3ページ以降をご覧ください。◎が記載になっている委員は、座長となりますので、よろしくをお願いします。

本日は、分科会における審議となりますが、次回の全体会では、全体的な審議も行いますので、その際には、所属した分科会以外の分野に対しても遠慮なくご意見をいただきたいと思っております。

本日の終了は、午後4時をめどにしておりますが、各分科会の進み具合も、それぞれかと思っております。

つきましては、分科会ごとに終了していただきたいと思っております。

また、適宜、休憩をはさんで審議していただければと思っております。

次回の審議会ですが、10月14日（水）午前9時から、この会場で開催いたしますので、出席をお願いします。

##### ○菊池文正 経営企画部長

ただ今の説明に対して、ご質問等ございませんか。

それでは、各分科会に分かれてのご審議をよろしくをお願いします。

#### 6 審議

(1)第2次遠野市総合計画前期基本計画（案）について

分科会に分かれての審議。